

2022年8月5日

会員各位

一般社団法人東京産婦人科医会
会長 山田正興
母子保健担当理事 谷垣伸治

コロナ陽性妊産婦への対応について

コロナ感染第7波により、妊産婦もその多くが自宅療養しています。東京都では、ご承知のように「助産師による健康観察」が行われています。

東京助産師会から以下のような依頼がありましたので、通知させていただきます。

- 1) 助産師会の健康観察は、保健所からの依頼のあった妊婦に限られています。
かかりつけ医からの直接のご連絡には応じられない制度となっています。

- 2) コロナ陽性妊婦の切迫流産や分娩への対応について
自宅療養中に、流産徴候や分娩開始等の異常な兆候が見られた場合は、
かかりつけ医が責任を持って対応頂くよう妊婦さんへのご指導を含めて
お願い申し上げます。
助産師が搬送調整などは出来ません。

感染禍での診療、ご多忙かつご心労いばかりかと存じますが、ご確認いただきますよう
宜しく願いいたします。